

教育発達専攻

心理学専修

子どもたちの心理的な特徴を考慮して、
児童・生徒の成長を促すことができる教員を養成します。

学びのポイント

1
様々な心理学に関する科目を通して、
児童・生徒の心理的特徴に関する知識を学ぶ

児童期・青年期の心理的な特徴を理解した上で、教員は子どもに接する必要があります。多様な領域の心理学を学習し、児童・生徒への実践的な対応能力の土台を形成します。



2
心理学検査、
心理学実験等の
科目を通して、
個人差理解の姿勢を学ぶ

教員は、個々の子どもたちの特徴を知る必要があります。豊富な実験や演習の授業を通して、個人差を理解するための姿勢を育成します。

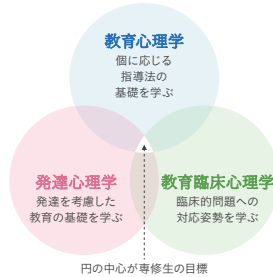
3
心理学研究法等の
科目を通して、
心理を客観的に把握する
技能を学ぶ

子どもの心理は、客観的に理解できるようにしなければなりません。統計的な分析、人の行動を捉える方法を学ぶことを通して、心理を客観的にとらえる姿勢を習得します。

学びの領域

心理学を背景とした 学びの領域

教育、発達、教育臨床という3領域の学びによって、児童・生徒への実践的な対応能力の土台が形成され、心理学的視点を背景とした指導力が生まれてきます。



心理学専修の授業スケジュール

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限	認知発達特講			教育実習事前指導		視覚障害児の教育I
3・4時限	学校教育相談特講	初等教科実践指導		教育実習事前指導		重複障害教育の理論と実践
5・6時限		心理学研究法				
7・8時限	肢体不自由教育方法				知的障害の医学	
9・10時限				教育臨床心理学特講		



心理学研究法

心理統計の基礎知識及びデータ分析の専門的スキルを学習します。そのために、個々にパソコンを使用し、データに対するソフトウェアの方法を実習します。



教育臨床心理学特講

心の健康や、子どもと教師の対人関係などについて学びます。そして、教育に関する問題に対して、多様な視点から考察する力を身につけます。



認知発達特講

専門書の講義を通して、認知発達に関する心理学の視点や知見を理解し、その理解に基づいて教育や発達支援について考えます。

Student's Voice 在学生の声

「子どもたちと心からつながるために」



心理学専修4年生
井上 拓哉さん
(三重県立伊勢高等学校出身)

心理学と聞くと、「人の心を読む」といったテレビでよく取り上げられるようなイメージが強いかもしれませんが、心理学とは、「人の心を考える学問」です。様々な分野を含む、幅広い学問となっています。

心理学専修では、人と関わるうえで大事な、人の気持ちを考えることについて学ぶことが出来ます。教師を目指す中で、子どもたちの心を理解することは必要不可欠です。心理学専修では、講義の中で、「いきなり専門的なことはわからない」と不安な人も大丈夫です。子どもの心を考え、子どもに寄り添った教員を目指す方は、ぜひ心理学専修へ！

主な開講科目

心理学概論 / 心理学検査・II / 教育心理学特講・演習
認知発達特講 / 認知発達演習 / 教育臨床心理学特講・演習
人間環境心理学 / 心理学実験 / 心理学研究法

取得できる免許状

小学校教諭一種 等 (P.8,9取得できる免許状・資格)のページ参照)

卒業後の主な進路

小学校・中学校教諭が主な進路です。過去3年間では、卒業生の半数以上が全国の公立小学校に勤務しています。その他、大学院に進んで心理学の専門職(心理判定員等)をめざす卒業生もいます。

教員および専門分野(平成29年5月1日現在)

- ・豊田 弘司教授 / 教育心理学
記憶・学習に関する実験的研究及び対人関係の調査的研究
- ・出口 拓彦准教授 / 教育臨床心理学
対人関係、規範意識、適応、学級集団等に関する研究
- ・中山 留美子准教授 / 発達心理学
人格・自己の発達に関する調査的研究
- ・市来 百合子教授 / 臨床心理学
心理臨床における非言語的なアプローチに関する研究
- ・解良 優基特任講師 / 教授学習心理学
児童・生徒の学習動機づけの促進に関する研究